上浦小3・4年 思い出新聞

2025(令和7)年 11月20日(木)発行

上浦幌中央小学校3・4年
愛良・佐藤
紗来・山川

作ろう砂糖 学校農園で

始まりは JA青年部

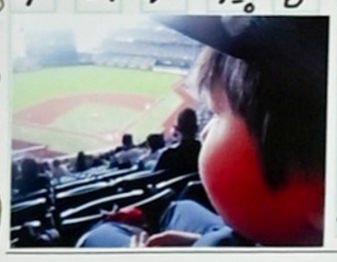
私達の砂糖作りの始まりは、JA青年部と行ったビートの種まきです。その後、観察をしたり調べたりして、その事を学園祭で発表しました。秋の終わりにビートを収かくし、地域の方に砂糖作りを学びます。鹿児島県の奄美とも交流予定です。

5月26日ビートの種まきをJA青年部といっしょにしました。まず、うねをきって、ひ料をいっぱい入れました。次に、

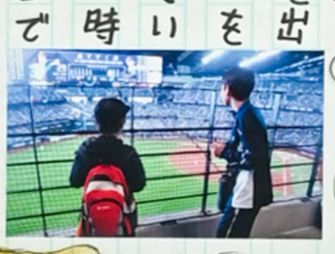
ホーでかきまぜました。その後に種をまきました。種と種の間は、くつ一個分あけます。と教えてもらいました。種をまいた後に土をかぶせました。最後に水やりをしました。ときどき小雨がふる中の作業でしたが、JA青年部と活動ができて楽しかったです。その後、水やりや草取り等もがんばりました。

日ハム勝利!! 遠足でエスコン

遠足でエスコンに行った日は5月15日です。バスに3時間乗ってエスコンに昼すぎ着きました。試合を見ました。1時すぎに試合を見ました。オリックス対日本ハムでした。いっぱい応えんしましたが、6回目まで両チーム無得点でした。そして7回に、日本ハムにヒットがつづき、2点入りました。このリリーフの宮西せん手のホールドが日本

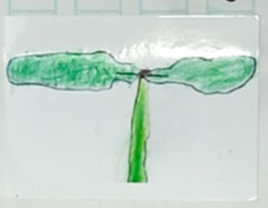


新記録を出し花たばをもらっていました。時間の都合で試合と中で帰りましたが、ファイターズ大ファンの阿部校長先生がバスの中で試合結果を教えてくれました。日ハム勝利に皆大喜びでした。



ビートの観察

種をまいた後、芽が出ました。その次に本葉が出てすくすくと育っていきました。ビートの都道府県ランキングでは、北海道でしか栽培されていないことがわかりました。外国での生産ランキングは1位がロシア、2位がアメリカ、3位がドイツでした。ビートの名前の由来は、ケルト語で赤を意味するらしいです。ビートは日本よりも海外の方が有名らしいです。7月からすくすくと育けてぐんぐん大きくなっていきました。9月11日の観察では、実の周りの大きさは39cm、葉の数は30枚ほどでした。短期間での大成長におどろきです。



プレゼン発表

10月18日は、上浦幌学園祭でした。そこで私達は、パソコンを使ってビートの様子をプレゼン発表しました。私達のテーマは、「クラスで砂糖を作ろう」です。まず、JA青年部の人達との種まきをしようかいしました。次に、ビートの生長の様子やインターネットで調べた生産国等も発表しました。

ビートから砂糖へ

ビートは11月19日にしゅうかくしました。一番重いビートは1.7kgもありました。この後、地いきの方と砂糖作りをします。できた砂糖は高学年にわたして料理で使ってもらいます。奄美のさとうきびとの交流も予定されています。

正しいごみ分別

11月5日に社会科見学でくりりんセンターに行きました。ここではもえるゴミ、もえないゴミ、大型ゴミをしょりしていました。人々がきけんな物が入っていないかかくにんをしていました。係の方がくりりんセンター内をあん内してくれました。ロビーにはグランドピアノがおいてありました。このピアノは大型ゴミで出されたそうですが、もったいないのでしゅう理をして電気で自動にえんそうできるようにしたそうです。その他にも水そうでし育されている魚がいてとてもかわいかったり観葉植物がおいてあったりしてすてきでした。ゴミ工場がとても清けつだったので、安心しました。ピットではクレーンでゴミを持ち上げてまでていました。サービスでこっちまでゴミをっかんだクレーンが来てくれて、うれしいなって思いました。ゴミを落とす場所があって、自動ドアでべんりだなって思いました。ウィングリンにアルミかんとかのブロックがありました。ブロックにさわったらとてもかたくてがんじょうでこわれなさそうでした。

編集後記

⊙かべ新聞作りで、記事や見出しを書くのが、とても楽しかったです。(愛良)

⊙記事を書いたり見出しのふちどりをするのが楽しかったです。(紗来)